

～見つけよう！今、元気なムラの取組～

第3回 ディスカバー **宝**
農山漁村の

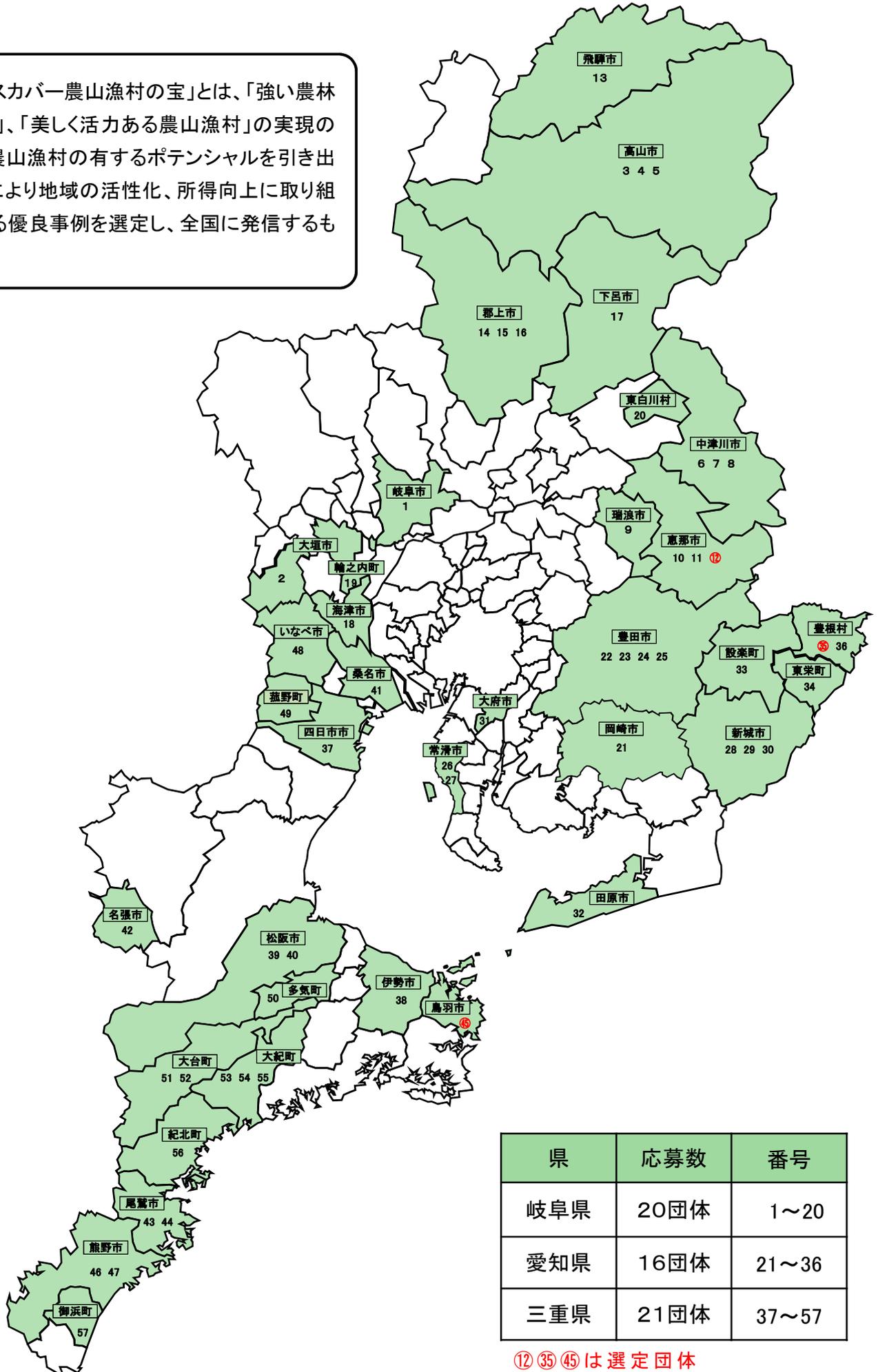
～ 東海農政局管内 応募団体事例集 ～



平成 29 年 3 月
農林水産省
東海農政局

「ディスカバー農山漁村の宝」(第3回選定) 東海農政局管内 応募団体位置図

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものです。



県	応募数	番号
岐阜県	20団体	1～20
愛知県	16団体	21～36
三重県	21団体	37～57

⑫ ⑮ ⑯ は選定団体

目次

No.	応募団体名	市町村名	頁
岐阜県			
1	水土里ネット各務用水(各務用水土地改良区)	岐阜市	1
2	時まちづくり活動推進実行委員会	大垣市	2
3	一般社団法人 ふるさと体験飛騨高山	高山市	3
4	しおやも同好会	高山市	4
5	荒城郷まほろば文化村推進協議会	高山市	5
6	加子母風起こし実行委員会	中津川市	6
7	加子母教育協議会	中津川市	7
8	加子母花づくり会議	中津川市	8
9	NPO法人 ポランの広場	瑞浪市	9
10	特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会	恵那市	10
11	特定非営利活動法人 農村景観日本一を守る会	恵那市	11
12	奥矢作移住定住促進協議会 	恵那市	12
13	株式会社 ありがとうファーム	飛騨市	13
14	ふるさと栃尾里山倶楽部	郡上市	14
15	岐阜県郡上市和良町 宮地自治会	郡上市	15
16	明宝 ビスターリマーム	郡上市	16
17	竹原農地・水・環境保全会	下呂市	17
18	有限会社 サンフレッシュ海津	海津市	18
19	徳川将軍家御膳米生産組合	安八郡輪之内町	19
20	特定非営利活動法人 青空見聞塾	加茂郡東白川村	20
愛知県			
21	竹水鉄砲合戦実行委員会	岡崎市	21
22	新盛里山耕	豊田市	22
23	おばらOMIYAGEデザイン	豊田市	23
24	あいちの山里産直コンソーシアム	豊田市	24
25	NPO法人 豊田・加茂 菜の花プロジェクト	豊田市	25
26	有限会社 デイリーファーム	常滑市	26
27	JAあいち知多女性部	常滑市	27
28	鞍掛山麓千枚田保存会	新城市	28
29	JA愛知東助け合い組織 つくしんぼうの会	新城市	29
30	つくでスマイル推進協議会	新城市	30
31	NPO法人 東知多菜の花プロジェクト	大府市	31
32	ベジエール渥美	田原市	32
33	奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会	北設楽郡設楽町	33
34	古戸ひじり会	北設楽郡東栄町	34
35	茶臼の里合同会社 	北設楽郡豊根村	35
36	豊根村	北設楽郡豊根村	36

No.	応募団体名	市町村名	頁
三重県			
37	認定特定非営利活動法人 森林の風	四日市市	37
38	横輪町活性化委員会	伊勢市	38
39	波瀬むらづくり協議会	松阪市	39
40	会社会社 松阪協働ファーム	松阪市	40
41	すし工房なばな	桑名市	41
42	特定非営利活動法人 あぐりの杜	名張市	42
43	株式会社 熊野古道おわせ	尾鷲市	43
44	特定非営利活動法人 天満浦百人会	尾鷲市	44
45	鳥羽市マルシェ有限責任事業組合 	鳥羽市	45
46	一般財団法人 熊野市ふるさと振興公社	熊野市	46
47	丸山千枚田保存会	熊野市	47
48	一般社団法人 サンパーク いなべ	いなべ市	48
49	田光資源と環境を守る会	三重郡菰野町	49
50	立梅用水土地改良区	多気郡多気町	50
51	大台町木づかい推進協議会	多気郡大台町	51
52	大杉谷移住促進協議会	多気郡大台町	52
53	野原村元気づくり協議会	度会郡大紀町	53
54	大紀町漁業活性化推進協議会（魚々錦会）	度会郡大紀町	54
55	特定非営利活動法人 大紀町日本一のふるさと村	度会郡大紀町	55
56	三重 紀北町 海・山こだわり市	北牟婁郡紀北町	56
57	尾呂志地区活性化プラン推進委員会	南牟婁郡御浜町	57

岐阜県 岐阜市

1. 水^{みどり}土^{かがみ}里^{ネット}各^務用^水 (各務用水土地改良区)

～ 農地と用水路は地域の宝 手渡そう次の世代へ美しく ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

その他(自然エネルギー・
施設保全・地域づくり)



水路上部空間を活用した太陽光発電



竹の子祭りと竹伐りボランティア活動



倒木処理の様子

活動のきっかけ

- ◆農家の減少・高齢化による地域の農業の減退。地域の宝である各務用水と美しい水田は、用水法面には笹や竹が生い茂り、耕作放棄地が増加
- ◆地域の宝である各務用水の復活を目指して平成20年に活動開始

取組概要

- ◆用水路の法面を活用して、太陽光発電を開始
- ◆用水路法面の竹やぶ化防止のため「竹の子祭り」を開催し都市住民と交流
- ◆耕作放棄地でサツマイモを生産し本格芋焼酎「鶺鴒」(うすい)を開発

活動の効果

- ◇太陽光発電の導入により土地改良施設の維持管理費を15%軽減
- ◇用水路の法面に整備した太陽光発電装置が、地域のシンボル(ランドマーク)として地域住民に浸透
- ◇子ども達の環境学習や、ボランティア等との除草、水路補修等の共同保全活動を通じた地域資源の再発見

水土里ネット各務用水

岐阜市藪田南5丁目14-12(シンクタンク庁舎3F)
TEL:058-215-0751 FAX:058-216-0058

2. ^{とき}時まちづくり活動推進実行委員会

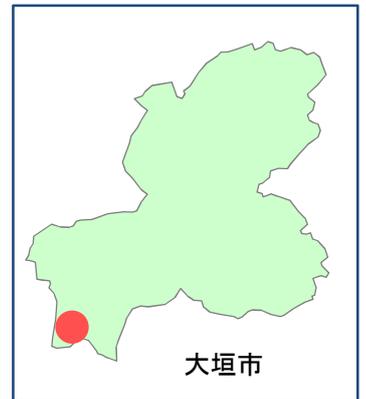
～ 地元大好き時の郷 仲間と共にご縁を紡ぐ ～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

定住・移住



大垣市



地味噌として復活させた「長範みそ」



復活させた砂糖菓子「舞鶴」



景観保全活動～桜の剪定～

活動のきっかけ

- ◆平成18年の市町村合併時に地区の将来に危機感を抱き、住民主導による地域づくり活動で地区を守っていくことを目的として委員会を設立

取組概要

- ◆桜並木や、烏帽子岳の登山道整備による景観保全やこども達の環境学習を実施
- ◆地味噌「長範みそ」、砂糖菓子「舞鶴」の復活と新商品の開発
- ◆定住、移住希望者の受入れと移住者へのフォローによる移住の推進

活動の効果

- ◇登山道の整備やPR用マップの作成による情報発信により、登山者が約1,000から約3,200人(H23→H27)へ増加
- ◇復活させた「長範みそ」を材料として新たなスイーツ「味噌ラスク」や「味噌饅頭」を開発
- ◇移住者12組が活動を理解し、地域づくり活動に積極的に参加することで地域が活性化
- ◇活動を契機に近隣3地区と協働活動する機運が醸成され、旧上石津町を全域とする「上石津まちづくり協議会」が設立

時まちづくり活動推進実行委員会

大垣市上石津町打上535

TEL:0584-45-3046 FAX:0584-45-3047



3. 一般社団法人 ふるさと体験飛騨高山

～ 日本一広い市の資源を活かした教育旅行 ～

キーワード

自然・景観

国内観光

子ども(教育・体験)



子ども達の農作業体験の様子～畑の畝づくり～



民宿オーナーから学ぶ箸づくりの様子



築100年以上の体験民宿

活動のきっかけ

- ◆従前より各々で行われていた農業・自然体験などの都市住民や学校との交流活動の窓口を、高山市で一本化するため平成18年に組織を設立

取組概要

- ◆「飛騨高山」の歴史文化資源と豊かな自然資源を組み合わせた農山村体験プログラムを、教育旅行プランとして都市部の小中学校に提供
- ◆高山市内の広範囲な受入地区が連携し、「民宿」を学校で貸し切り子ども達を受入れ
- ◆民宿オーナーや女将が、子ども達に田植えなどの「体験活動」を指導

活動の効果

- ◇民宿が比較的閑散期である春から初夏（5月連休明け～6月中旬）の教育旅行の受入れは、年間を通じた民宿の経営安定化に寄与
- ◇団体を介して教育旅行に参加する子ども達が、約4,200人から6,600人(H23→H27)へ増加
- ◇農作業の補助者として生徒を受け入れることにより労働力を確保。高齢者等が農業指導などを行う機会が増加し生きがいに寄与

一般社団法人 ふるさと体験飛騨高山
高山市丹生川町日面73-1
TEL:0577-79-2005 FAX:0577-79-2006



4. しおやもも同好会

～ しおやももを通じた誇れる故郷の創造 ～

キーワード

伝統・継承

地産地消



地域全体で活動する塩屋町住民



幻のすもも「しおやもも」と「しおやももジャム」



地域の子ども達

活動のきっかけ

- ◆鳥獣被害や高齢化による耕作放棄地の増加等の地域の課題を解決するため、地域特産品「しおやもも」を保存し、地域活性化を図ることを目的として平成17年に同好会を設立

取組概要

- ◆地域特産品「しおやもも」をJAひだ、宮川朝市や宅配で販売
- ◆「しおやもも」を材料とした「まぼろしのしおやももジャム」を新たに開発し、町内の商店や市内のアンテナショップ等で販売

活動の効果

- ◇「しおやもも」の生産量が約400kgから1,300kg(H23→H27)に増加
- ◇「しおやもも」を地域のシンボルとして位置付け、様々な活動を行うことで郷土愛を育成
- ◇中山間地域等直接支払制度による集落協定活動や地域特産品開発の取組が、地域農業の特色は自分達で創造するという意識を醸成

しおやもも同好会

高山市塩屋町1336番地

TEL:0577-33-7247 FAX:0577-33-7247

5. 荒城郷まほろば文化村推進協議会

～ 自然と文化を尊び、賑わいある豊かな荒城郷 ～



キーワード

自然・景観

伝統・継承

子ども(教育・体験)



荒城農業小学校「稲刈り・ハザかけ授業」の様子



郷土料理弁当「あら！きれい弁当」



荒城郷農業体験交流館

活動のきっかけ

- ◆ 農業者の高齢化、担い手・後継者不足、耕作放棄地の増加などに対応して、「農」をキーワードに農村文化・技術・風習・食文化等を将来を担う人達に継承することを目的として、平成20年に協議会を設立

取組概要

- ◆ 農業体験、郷土料理弁当「あら！きれい弁当」の販売など農業に関連した伝統文化の保全・活用活動を実施
- ◆ 郷土料理づくりとコラボした陶芸体験ツアーや里山の暮らし伝承講座など各種イベントを実施

活動の効果

- ◇ 秋の収穫祭「荒城郷まほろば文化祭り」の来場者数が約 1,800人から約 3,300人 (H23→H27) に増加
- ◇ 郷土料理弁当「あら！きれい弁当」の販売が 80食から1,000食に増加 (H23→H27)
- ◇ 都市住民との交流で地域が活性化するとともに、観光都市「飛騨高山」の市街地に隣接する農村地域としての知名度が向上
- ◇ 地域全体の活動を通じて、地域の連帯意識が醸成

荒城郷まほろば文化村推進協議会

高山市冬頭町1番地1 (JA飛騨国府支店営農課)

TEL: 0577-72-3702 FAX: 0577-72-3803

6. 加子母風起こし実行委員会

～ 田中千香士音楽祭 世界で唯一の芝居小屋でクラシックコンサート ～



中津川市

キーワード

伝統・継承

国内観光

子ども(教育・体験)



第18回明治座クラシックコンサート



子どもたちのためのクラシックコンサート



加子母保育園での出張コンサート

活動のきっかけ

- ◆平成10年に東京芸術大学名誉教授の田中千香士氏が中津川市「明治座」を訪れた際、子どもたちに「本当の楽器の音を聴かせたい」との熱意がきっかけとなり、「クラシックコンサート」を開催したことを契機に活動を開始

取組概要

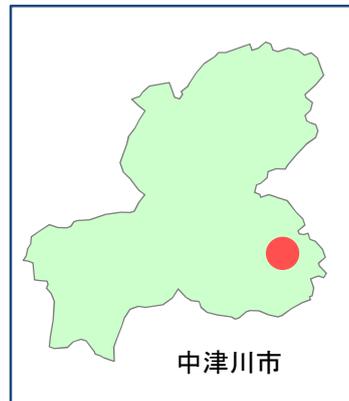
- ◆岐阜県有形民俗文化財指定の「明治座」で「明治座クラシックコンサート」、「地域の子どもたちのためのクラシックコンサート」、「加子母歌舞伎」を毎年開催
- ◆出張クラシックコンサートを市内の保育園、小学校などで毎年開催

活動の効果

- ◇「明治座クラシックコンサート」や「加子母歌舞伎」公演など「明治座」が全国に発信されたことで観客数が215千人（～H27）を達成
- ◇子ども達が本物のクラシック音楽に触れることにより、地域の賑わいが戻る
- ◇田中千香士氏の「山村の子ども達に本当の楽器の音を聴かせてあげたい」という意思を引き継いだ「出張クラシックコンサート」が市内の保育園、小中学校、デイサービスセンターなどの各施設へ広がり、地域の活性化

加子母風起こし実行委員会

中津川市加子母3519番地2 (中津川市役所)
TEL:0573-79-2111 FAX:0573-79-2700



中津川市

7. かしも加子母教育協議会

～ ときどきわくわく学校へ行こう
加子母教育協議会の活動 ～

キーワード

伝統・継承

子ども(教育・体験)

その他(ボランティア)



明治座の歴史と技術を学ぶ(小学3年生)



加子母で働く若者との談話会(中学2年生)



未来について考える(中学3年生)

活動のきっかけ

- ◆市町村合併を契機に、加子母地域の子ども達を学校・家庭・地域ぐるみで育てる学校支援活動に取り組む組織として、平成18年に協議会を設立

取組概要

- ◆「加子母の子どもたちを学校・家庭・地域ぐるみで育てよう」をテーマに「教育の日」として、地域の人を講師に、地域参加型授業参観を毎年11月に開催
- ◆夏休みを利用して、加子母地域に新たに赴任してきた先生が地域について学ぶ「加子母1日研修」を開催

活動の効果

- ◇地域のコミュニケーション維持、子ども達の安全・安心な環境づくりに寄与
- ◇子ども達が地域の素晴らしさを知り、郷土愛が醸成。また、将来地域を担う人材育成に寄与
- ◇講師として参加することにより、授業内容を地域全体で企画。地域全体で子ども達を育てていくという意識の醸成

加子母教育協議会

中津川市加子母3519番地2(中津川市役所)
TEL:0573-79-2111 FAX:0573-79-2700

8. かしも加子母花づくり会議

～ 住民総出の花づくり 地域を動かす子ども達 ～



キーワード

自然・景観

国内観光

子ども(教育・体験)



育てた花苗を移植する中学生



育苗の指導を受ける中学生



国道沿いに移植した色とりどりの花

活動のきっかけ

◆加子母の中学生が、国道沿いのゴミ拾い美化運動の一環として、地域の有志が行っていた花植え活動に関わったことをきっかけとして昭和59年に会議を設立

取組概要

- ◆中学生が花苗を育て、地域住民総出で国道257号線沿いの約10kmを中心に花（ペゴニア）を移植。また同時に、草刈り、ゴミ収集などの周辺美化活動を実施
- ◆花の管理（水やり、草刈りなど）や枯れた花の片付けを地域住民で実施

活動の効果

- ◇地域全体による花植えと花の管理により、景観美化や清掃の意識が高まり、観光面でも夏から秋の風物詩として地域住民や観光客に広く親しまれる
- ◇中学生を含む住民総出の花づくりは、地域活性化や青少年の育成、生涯教育にも寄与
- ◇景観美化地域の拡大や同じ花植え活動を行っている隣接する付知地区と情報共有し、連携活動を計画
- ◇昭和59年から30年以上続く住民総出の活動そのものが、中学校と地域の歴史となっている

加子母花づくり会議

中津川市加子母3519番地2(中津川市役所)
TEL:0573-79-2111 FAX:0573-79-2700

9. NPO法人 ポランの広場

～ 農を生かした自給生活エンジョイライフ
(都市住民が羨むハッピー&ヘルスライフ) ～

キーワード

子ども(教育・体験)

地産地消

定住・移住



高齢者、地元住民への宅配弁当づくりの様子



トレーラーハウスとログハウス



農産物加工体験(小学生)

活動のきっかけ

◆地域産業の中心だった陶磁器関連業が低迷する中で、若者の地域外流出や少子高齢化などの様々な課題を解決して、地域を活性化しようと地域住民が集まり平成18年にNPO法人を設立

取組概要

- ◆パイプハウスで、ブドウ、各種野菜、椎茸、アマゴの養殖など各種農林水産物の生産を実施
- ◆工房「しあわせの杜」で地元農産物を加工し、直売施設「きなあつ瑞浪」での販売や地元高齢者宅への弁当宅配を実施
- ◆トレーラーハウス、ログハウスを整備して、宿泊・定住型の農業体験を提供

活動の効果

- ◇農業生産、農産物加工、農業体験、遊休農地・空き家対策、都市と農村の交流、農村景観の保全など様々な分野への取組と効果の発現
- ◇農業体験参加者が、200名から400名(H23→H27)に増加
- ◇活動内容の周知宣伝などにより、会員やボランティアが年々増加。取組も単独から任意団体や会社・大学等との連携へ移行
- ◇活動により、地元高齢者や女性雇用の場、高齢者の憩いの場・地域住民の集まりの場を創出

NPO法人 ポランの広場

瑞浪市陶町水上267-1

TEL:0572-65-2358 FAX:0572-65-2358



恵那市

10. 特定非営利活動法人 さかおり たなだ 恵那市坂折棚田保存会

～ 都市・農村との交流による
坂折棚田の支援を深める保全活動 ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

国内観光



石積塾による石積体験の様子



棚田オーナーによる稲刈り



田の神様灯祭り

活動のきっかけ

- ◆平成15年に第9回全国棚田サミットが坂折棚田で開催されたのを機に、任意団体「坂折棚田保存会」を設立。平成20年に特定非営利活動法人として認定

取組概要

- ◆棚田オーナー制度による米作りの他、田の神様灯祭り、棚田フォトコンテスト、石積塾、炭焼塾、など各種イベントを開催し都市住民との交流を実施
- ◆棚田ブランド開発事業により「さかおり棚田米」の販売や棚田米を原料とした純米酒「くろくわ」「千古乃岩」の開発・販売

活動の効果

- ◇棚田オーナーが、18組から80組(H23→H27)へ増加
- ◇オーナー制度を通じた都市住民(個人・企業)と協力して、棚田の景観を保全
- ◇「さかおり棚田米」の販売額が、110万円→340万円(H23→H27)へ増加
- ◇各種体験学習の実施による伝統的な技法の保全・継承や、体験交流を通じて地域農業を活性化

特定非営利活動法人 恵那市坂折棚田保存会
恵那市中野方町字坂折782-1
TEL:0573-23-2032 FAX:0573-23-2046



11. 特定非営利活動法人 農村景観日本一を守る会

～ 800余年の米づくりと5年目の蕎麦づくり ～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

定住・移住



活動のきっかけ

- ◆平成元年に「農村景観日本一」の称号を受けるも地域が活性化するまでには至らず10年が経過し、改めて景観の重要性を再認識
- ◆老朽化しながら唯一残っていた「茅葺きの家」を改修し、平成22年に農村体験型宿泊施設「茅の宿とみだ」を開設

取組概要

- ◆中山間地域で米、そばを栽培し、企業研修の受入れや農業体験を実施。収穫した農産物は食事として提供
- ◆他団体や企業との連携による景観日本一の展望所整備、景観保全のための草刈り、地域の高齢者を中心としたボランティアによる観光案内を実施

活動の効果

- ◇景観整備に関わるボランティアを通じて、農村景観日本一の称号を地域住民が一人一人意識することで、農業農村との関わりが再認識され、地域農業継続と景観保全に寄与
- ◇遊休農地を活用したそばの作付け面積が、28aから65a (H24→H28) に増加
- ◇利用客の増加で収益が上がり、ボランティアを雇用形態転換

特定非営利活動法人 農村景観日本一を守る会
恵那市岩村町富田2024
TEL:0573-43-4021 FAX:0573-43-4021



12. ^{おくやはぎ} 奥矢作移住定住促進協議会

～ めざそう空き家「ゼロ」の農山漁村 ～

キーワード

雇用

6次産業化

定住・移住



古民家リフォーム塾～床下の改修～



リフォーム塾で改修した拠点施設
結の炭家(ゆいのすみか)



料理研修～猪・鹿のジビエ料理～

活動のきっかけ

- ◆ 地域の高齢化、過疎化、担い手不足、耕作放棄地の増加等により農林水産業が衰退する中で、平成12年の「恵南豪雨災害」を機に、地元の有志が地域の課題を解決するために集結し、平成23年に組織を設立

取組概要

- ◆ 移住希望者が購入・賃借した空き家を地元大工の指導のもと、古民家リフォーム塾参加者やボランティアが改修
- ◆ 移住前に地域の文化や自然を体験するイベントを開催し、地域を体感する機会を創出
- ◆ 移住後は就農・就労支援のほか、田舎暮らしを支援

活動の効果

- ◇ 活動により65名が移住し、最大36軒あった空き家が4軒まで減少(H23→H27)
また、移住に伴い小中学生が増加し、地域に活気
- ◇ イベント等による交流人口が約1,000人から約7,000人(H23→H27)と約7倍に増加
- ◇ 平成26年度は若者が2名就農、平成27年度は2名が林業に就職
- ◇ 移住者が「串原・里山づくりの会」を設立し放置林の再生に取り組むとともに、新たな雇用も創出

奥矢作移住定住促進協議会

恵那市串原827番地

TEL:0573-52-2217 FAX:0573-52-2808



13. 株式会社 ありがとうファーム

～ すべての人につながいと居場所がある。有機農業と福祉で、ひとと自然に優しい地域コミュニティの再生 ～

キーワード

6次産業化

医療・福祉

その他(都市と農村の共生・対流)



稲刈り(農業体験)に参加された皆さん



障がい者施設でのラベル貼り作業の様子と「ひだっこシール」



味噌づくりセットと自社で生産した米、トマトを使用した甘酒

活動のきっかけ

- ◆以前は千葉県で営農。3.11震災を機に飛騨市へ移住。地域住民の支援により営農を再開
- ◆地域住民への恩返しに何か出来ないかと考えていたところ、NPO法人アースアズマザーと出会い、農福連携コミュニティ創り構想に共感し、平成21年に株式会社を設立

取組概要

- ◆「飛騨市有機農業推進協議会」を設立し、有機農業を目指す新規就農者の受入れや加工品の開発
- ◆「ひだっこシール」を作成し、商品のラベル貼りを福祉関係NPOへ委託し農福連携を実施
- ◆農業体験を通じた都市住民との交流により飛騨ファンづくりを推進

活動の効果

- ◇栽培から加工までを一連の流れで行うことで、新たな雇用を創出
- ◇生活困窮者を受け入れ、社会復帰に向けた生活訓練や就労準備としての作業訓練を行い、1名就業するなど。自立へのきっかけづくりの場を創出
- ◇障がい者を受け入れ、作業訓練後に社員として1名を雇用

株式会社 ありがとうファーム

飛騨市神岡町西1302

TEL:080-5233-6844 FAX:0578-82-3419



14. ふるさと^{とちお}と^{くらぶ}柝尾里山倶楽部

～ 里山の未来を紡ぐ自創自給プロジェクト ～

キーワード

「食」の提供・活用

定住・移住

その他(集落再生・コミュニティの再構築、都市農村交流)



里人塾(自然の恵みを学ぶ)



都市住民と耕作放棄地の再生



郷土食を次世代へ「おときのごはん」

活動のきっかけ

- ◆過疎化による少子・高齢化により集落の存続に集落の13世帯が共通の危機感を認識
- ◆集落の現実と向き合うため集落の総点検を実施し、築100年を超える古民家を改修することにより集落の再生を目指す組織を平成21年に設立

取組概要

- ◆改修した古民家を地域コミュニティ施設、田舎暮らしの短期滞在施設として活用
- ◆「柝尾里人塾」、「子ども寺小屋エコキャンプ」、「かなごの森づくり」など都市住民との交流活動を実施
- ◆葬儀や法事での「おときのごはん」を復活させ、郷土食を伝承

活動の効果

- ◇地域が抱える課題を地域住民と都市住民が考え活動する「柝尾里人塾」へ、過去6年間で約800人が参加
- ◇集落住民同士が話し合う機会が増え連帯感が高まり、地域づくりを軸としたコミュニティの再構築、高齢者の知恵の活用・継承に寄与
- ◇地域の祭礼の役者に柝尾里人塾に参加した都市の若者を受け入れ、伝統文化を保存・継承

ふるさと柝尾里山倶楽部

郡上市明宝二間手579-2

TEL:090-7695-8527 FAX:0575-87-2386

岐阜県 郡上市

郡上市



15. 岐阜県郡上市和良町 宮地自治会

～ 日本ど真ん中の平成の里人 = 宮地集落 ～

キーワード

伝統・継承

鳥獣被害防止

その他(農業集落の維持発展、存続の基本条件である草と獣との戦いを制する里人活動)



住民総出で道路法面に芝桜ロードを造成・管理



雑草抑制ネット・防草シートの敷設



一本杉のライトアップ

活動のきっかけ

- ◆ 少子高齢化、農業の担い手不足、鳥獣被害により農地が荒廃。また住民の心の拠り所である神社・祭礼文化の継承も困難な状況。
- ◆ 集落への愛着と絆が失われる危機感から、住民が地域資源を活用した「集落づくり」活動を、平成9年に開始

取組概要

- ◆ 鳥獣害防止策として「猪鹿鳥無猿柵」を開発し、県内外へ普及
- ◆ 雑草抑制ネット、防草シートでの除草。またマルチシートによる芝桜栽培で芝桜ロードを整備
- ◆ 戸隠神社、御神木「一本杉」等の維持管理。祭礼行事への都市住民等の参加による祭礼文化の伝承

活動の効果

- ◇ 鳥獣被害防止対策活動、耕作放棄対策活動の中で、各種器具・機材・施設を開発し、実証・展示。全国からの研修視察により、開発した器具等が全国へ普及
- ◇ 雑草対策により、担い手への農地利用集積が進展。また耕作放棄地が解消
- ◇ 農村環境が良くなり、集落の絆も深まり、暮らしやすいと評判で、県内外から10人(H23～H27)が移住

岐阜県郡上市和良町 宮地自治会
郡上市八幡町初音1727-2(郡上農林事務所)
TEL:0575-67-1111 FAX:0575-67-0961

岐阜県 郡上市



16. 明宝^{めいほう} ビスターリマーム

～ つなげたい 山里の 旬のおいしさ、郷土食の味 ～

キーワード 伝統・継承 「食」の提供・活用 子ども(教育・体験)



郡上の地味噌づくりの様子



郷土料理
(鶏ちゃんからあげ 味ご飯 野菜のマリネ)



家族参加による山菜採りツアー

活動のきっかけ

◆平成元年、明宝地域にスキー場が開設し旅館・民宿に若者の宿泊客が増加したことにより、若者への食事やサービス内容等の地域共通課題を解決するため、旅館・民宿の女将による組織を平成12年に設立

取組概要

- ◆年間 7,000人の子ども達（小学生中心）に川遊びや雪遊びなどの自然体験を提供
- ◆教育旅行で創作メニュー「里山まんま」を提供
- ◆トマトケチャップ、豆腐づくり体験など里山体験により都市住民との交流を実施

活動の効果

- ◇野菜嫌いの子ども達が野菜の生育、収穫を体験することで、子ども達の野菜嫌いの解消に貢献
- ◇旬のものや採りたて、また風土にあった料理を食べるという「食」の体験により食育を推進
- ◇おいしい保存食のワークショップを共同で開催するなど、他団体との連携に発展

明宝 ビスターリマーム

郡上市明宝畑佐1008番

TEL:0575-87-2400 FAX:0575-87-2152



下呂市

17. ^{たけはら}竹原農地・水・環境保全会

美しい田園・頑張る農村！ ～ いやしの里 竹原 ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

子ども(教育・体験)



遊休農地を再生したふれあい公園で都市住民との交流



住民が自発的に整備したスイセンの里



子ども達が演じる農村歌舞伎

活動のきっかけ

- ◆竹原地区の住民は、2度の合併により地域の連帯感や住民同士の意思疎通が希薄化し、伝統文化の継承等に危機感
- ◆「農地・水・環境保存向上対策」の取組みに当たり、地区内4集落が課題を解決し農村環境の保全と活気のある農村にするため平成19年に組織を設立

取組概要

- ◆各戸が花を植栽し田園環境の整備。また遊休農地や棚田をふれあい農園などに再生
- ◆かわら版に活動内容を掲載、「見どころMAP」を作成し情報発信
- ◆江戸時代から伝わる農村歌舞伎の保存、継承

活動の効果

- ◇遊休農地を再生したふれあい農園が新たな地域の交流の場に
- ◇都市から訪れる人が増加するにつれ、地区の住民におもてなしの心が醸成。また、住民の連帯意識の醸成、地域の結びつきに寄与
- ◇子ども達の農作業体験、食の提供に高齢者が関わることで、高齢者の生きがいづくりに寄与
- ◇次世代を担う子ども達に「郷土の良さを再発見し地域で生きることの誇り」が芽生え

竹原農地・水・環境保全会

下呂市野尻861番地1

TEL:0576-26-2519 FAX:0576-26-2519



18. 有限会社 サンフレッシュ^{かいづ}海津

～ 企業等との連携による新たな農業経営の挑戦
(顧客からあてにされる信頼の高い農業を目指す) ～

キーワード

企業

雇用

その他(新たな経営モデルの確立)



大型機械によるじゃがいも収穫



カルビー、バローとの共同開発



地元小学生の収穫体験

活動のきっかけ

- ◆国営かんがい排水事業(S59～H9)等を機に大規模土地利用型営農が可能となり、農地の受託面積を拡大し、米・麦・大豆中心の営農
- ◆補助金に依存しない経営を目指し、複数の食品企業との野菜の契約栽培や高収益作物を導入した水田複合経営モデル事業を開始

取組概要

- ◆生産側の農閑期の余裕時間や所有する農業機械の利用状況を踏まえ、生産に最適な農産物の種類と面積を検討し、食品企業と契約栽培
- ◆農業IT管理ツール「豊作計画」を導入し、データを活用した生産コストの正確な把握、効果分析

活動の効果

- ◇農繁期、農閑期の労働力の平準化、経営安定化に貢献
- ◇農業IT管理ツールの活用による生産コストの低減
- ◇企業との契約栽培面積が、10haから66ha(H23→H27)へ6倍に増加
- ◇カルビー、バロー(スーパー)との連携で「岐阜県海津産 新じゃがいも100%使用」のポテトチップスを開発、販売。
また、カルビーと共同で、ほ場や工場の親子見学会、収穫体験等を実施し食育に寄与

有限会社 サンフレッシュ海津

海津市海津町帆引新田587

TEL:0584-54-7451 FAX:0584-54-7455



輪之内町

19. 徳川将軍家御膳米生産組合

～ 未来に伝える輪之内のブランド米 ～

キーワード

伝統・継承

「食」の提供・活用

定住・移住



徳川将軍家御膳米生産組合の皆さん



物産展にて御膳米、パッカンの販売



収穫祭で足踏み脱穀機の体験の様子

活動のきっかけ

- ◆ 輪中で生産される「輪之内産米」は、江戸時代に徳川将軍家から品質が認められ献上していた歴史がある米
- ◆ 「輪之内産米」を全国にPRし、輪中での米作りを伝承・継承するため、平成25年に生産組合を設立

取組概要

- ◆ 「お田植え式」、「収穫祭」を開催し、町内外の子どもたちに田植え、稲刈り、足踏み脱穀機、はさかけなどの農業体験を実施
- ◆ 関係機関と連携・協力し、徳川将軍家御膳米を使用した加工品の開発・販売

活動の効果

- ◇ 徳川将軍家御膳米のブランド化や、生産量増加により生産者の所得が向上、経営に関する意識も高まり、町内営農組織の6組織が法人化
- ◇ 農薬・化学肥料を30%削減しアレルギーの少ない御膳米100%使用の「輪中パッカン（ポン菓子）」やフルーティな日本酒「徳川将軍家御膳酒」を商品化。地元産黒大豆使用の「御膳米黒ごはん」の商品化に向け準備中
- ◇ 御膳米の新規販路の開拓（大手量販店）により生産者のモチベーションが向上

徳川将軍家御膳米生産組合

安八郡輪之内町四郷2530-1（輪之内町役場）

TEL:0584-69-3111 FAX:0584-69-3119

岐阜県 東白川村



20. 特定非営利活動法人 けんぷんじゅく 青空見聞塾

地域資源を活かした自然体験 ～ 青空見聞塾 ～

キーワード

自然・景観

子ども(教育・体験)

その他(農林漁業体験)



自然体験プログラムに参加した子ども達



企業と連携した伐採作業の様子



溪流での自然体験

活動のきっかけ

- ◆村の青年有志による地域づくりワークショップがきっかけとなり、東白川村の自然体験学校を創る事業が、民間会社による社会貢献コラボレーション事業「青空見聞プロジェクト」として平成17年に活動開始

取組概要

- ◆子ども達や家族参加の自然体験学習や環境教育、エコツーリズム、ヘルスツーリズム、企業や学生向けの人材育成プログラムの実施
- ◆健康維持や生涯スポーツ、土曜日や夏休みの学童あづかり事業、高齢者のおでかけバス事業などのボランティア活動の実施
- ◆お茶摘み体験などのイベント開催

活動の効果

- ◇取組により、塾の会員が60人から360人(H24→H27)へ増加
- ◇交流人口が約750人から約1,900人(H24→H27)へ増加
- ◇活動において、都市部の企業・団体との連携を始め、さらに近郊の女性グループや都市部のCSR活動を推進する企業などと連携した取組に発展

特定非営利活動法人 青空見聞塾

加茂郡東白川村五加1349番地

TEL:080-1615-7700 FAX:0574-78-3116

21. たけ みずてっぽう がっせん 竹水鉄砲合戦実行委員会

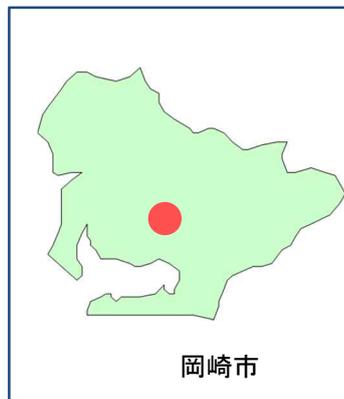
～ さあ決戦だ！ みんなで楽しもう竹水鉄砲合戦 ～

キーワード

国内観光

子ども(教育・体験)

その他(竹林の拡大や荒廃に対する対策案)



岡崎市



平成27年竹水鉄砲合戦 全国大会の戦い



竹水鉄砲合戦 小学生大会の戦い



小学校での授業の様子

活動のきっかけ

- ◆竹林の拡大や荒廃という環境問題に直面する地域で、「竹」を地域資源として活用するため、平成18年に「竹水鉄砲合戦」を考案し活動を開始

取組概要

- ◆会員による地域の竹林伐採や竹水鉄砲の研究・製造
- ◆市内小学生の授業の一環として、「竹水鉄砲合戦教室」を開催
- ◆「竹水鉄砲合戦全国大会」を企画運営し、これまでに計8回の大会を開催

活動の効果

- ◇竹藪の竹を間引き、資源として有効活用することで、景観の改善や竹やぶの維持管理を軽減
- ◇「竹水鉄砲合戦教室」への小学生の参加者が約30人から約150人(H23→H27)へ増加
- ◇「竹水鉄砲合戦全国大会」を定期的に開催したことで、交流人口が拡大し、地域が活性化
- ◇岡崎発祥の「竹水鉄砲合戦」は、老若男女を問わず大人から子どもまで楽しめるスポーツとして知名度が向上

竹水鉄砲合戦実行委員会

岡崎市康生通南3丁目2番地221ビル3F
(MSA221内)TEL:0564-84-2170

MAIL:takemizuteppo@gmail.com

愛知県豊田市

22. しんもり さとやま こう 新盛里山耕

～ 「エコでおしゃれな 21世紀の里山暮らし」 ～

キーワード その他(都市と農山村の交流)



米つくり農業塾 田植え前の集合写真



旬裁食講座の様子



炭焼き講座の様子

活動のきっかけ

- ◆先祖伝来の山や田畑を美しい里山に再生し、次世代を担う子ども達や孫へ引き継ぎたいとの思いを持った仲間が結集し平成20年に活動を開始

取組概要

- ◆里山での暮らしを作物の栽培や食を通して体験できる「旬裁食講座」を実施
- ◆炭材の切り出しから炭焼きまで体験できる「炭焼き講座」を実施
- ◆農業体験を企業と連携して実施する米つくり農業塾など各種イベントを実施

活動の効果

- ◇「新盛里山耕」開設から9年で里山の整備が進み、集落内の耕作放棄地が減少
- ◇各種体験講座やイベントの開催により都市住民との交流が活性化、Iターンによる定住世帯や人口が増加
- ◇これまで活動に関心のなかった地域住民に活動の重要性が理解され、協力者が増加

新盛里山耕 (豊田市役所足助支所)
豊田市足助町宮ノ後26-2
TEL:0565-62-0601 FAX:0565-62-0606



23. おばらOMIYAGEデザイン

～ 地元食材コラボによる新土産で地域活性化！ ～

キーワード

「食」の提供・活用

その他(農商工連携)



平成25年豊田国際体操イベント時の店内の様子



本格派スイーツ「おばらボンヌ」



外箱組み立ての様子と「おばらじえんぬ」

活動のきっかけ

- ◆「和紙」「歌舞伎」「四季桜」が3大観光資源の小原地区で、地元食材を活用したお土産商品を開発し、地域資源の保存・伝承と地域経済の活性化を目指し、平成25年に活動を開始

取組概要

- ◆地域の名物食材（赤たまご、天然にがり豆腐、四季桜の葉）を活用した新たなお土産の開発
- ◆地元の異業種の若手事業主（養鶏業、小売業、旅館業、デザイン業）が連携して、洗練された商品デザインを企画

活動の効果

- ◇お土産品開発の第1弾「おばらボンヌ」と第2弾「おばらじえんぬ」の販売が好調
- ◇デザイン性と高級感のある商品が地域全体のイメージアップや観光PRに貢献
- ◇地域資源とのコラボ商品が話題を呼び、「うめジャム」や「米粉パン」など新たな商品が誕生
- ◇商品生産工程の一部を地元の「おばあちゃん」に委託することにより、高齢者の生きがいづくりに寄与

おばらOMIYAGEデザイン

豊田市平畑町東田722

TEL:0565-65-3611 FAX:0565-65-2837



24. あいちの山里産直コンソーシアム

～ 山間部・人気直売所がシェフの卵と連携し
山の魅カー杯スイーツをPR ～

キーワード

「食」の提供・活用

地産地消

その他(ネットワーク)



産直フェア あぐりん村での調理専門学生スイーツ発表会



ナゴワングランプリ会場での直売の様子



調理専門学生が開発したスイーツ

活動のきっかけ

- ◆県内産直所実態調査（H21・300施設を対象）で、課題（施設単体の運営が多く、集客イベントや情報発信の未確立）が判明
- ◆課題解決に向けたイベント協働開催の体制整備の機運が高まり、平成24年に組織を設立

取組概要

- ◆地域内の産地直売所を巡る「あいちの山里物語“食感・体感・感動”スタンプラリー」を開催
- ◆都市近郊の産地直売所で「産直フェア」を開催

活動の効果

- ◇スタンプラリーの参加者を分析し、結果を情報発信に活用
- ◇地域内の産地直売所が、企画から運営までを協働して取り組むことで、お互いの顔が見える関係が醸成
- ◇名古屋調理師専門学校と連携して地産地消の研究活動を行うなど、新たな連携の輪が拡大
- ◇年を重ねる毎にスタンプラリーの参加者や産直フェアへの来場者が増加
スタンプラリー参加者と産直フェアの入場者数の計 4千人→12千人（H24→H27）

あいちの山里産直コンソーシアム

豊田市武節町針原22-1（どんぐりの里いなぶ）
TEL:0565-82-3135 FAX:0565-82-3138

25. NPO法人 豊田・加茂
菜の花プロジェクト

～ 菜の花を活用して安心安全な未来を届けたい ～

キーワード

自然・景観

子ども(教育・体験)

地産地消



耕作放棄地を活用した菜の花ほ場の風景



中学校での菜の花の植え替え作業



イベントでの出展の様子

活動のきっかけ

- ◆環境保全、景観形成、若手農家の育成を目的に菜の花を栽培し、愛知万博（平成17年）へ菜の花を提供したことをきっかけに、NPO法人を平成19年に設立

取組概要

- ◆休耕田を利用して菜の花・ひまわりを栽培し、市内中学校で環境学習の出前授業を実施
- ◆地元油脂メーカーに委託し、採種した菜種 100%の「豊田・加茂のなのはな油」や菜種搾り絞粕から「なのはな醤油」を商品化

活動の効果

- ◇毎年、約 1 haの耕作放棄地を解消し菜の花等を栽培することで、景観保全に貢献
- ◇商品開発した「なのはな油」、「なのはな醤油」の道の駅や地元イベント等での販売が地産地消に貢献
- ◇中学校で行う「環境学習の出前授業」は、子ども達が農作業体験を通して食の大切さを学ぶことに貢献

NPO法人 豊田・加茂 菜の花プロジェクト
豊田市花丘町1-17
TEL:0565-41-4837 FAX:0565-34-3566

26. 有限会社 デイリーファーム

～ といたてたまごの店 ココテラス ～

キーワード

「食」の提供・活用

6次産業化

地産地消



ココテラスの元気なスタッフ一同



ココテラスの外観



たまご加工品のスイーツ各種

活動のきっかけ

- ◆付加価値のある「あいちの米たまご」の魅力を多くの消費者に伝えるための販売拠点を構想する中、6次産業化の認定をきっかけに直売事業を平成27年に開始

取組概要

- ◆「あいちの米たまご」の直売・加工・イートイン施設として「ココテラス」を平成27年にオープン
- ◆自社スタッフが洋菓子店で研修を積み、独自のレシピを開発し、手作りによるスイーツを販売
- ◆地元小学生への食育活動を実施

活動の効果

- ◇地元農家と連携し、自社の鶏ふんを使った飼料米を餌として生産された「あいちの米たまご」は、地元農業の活性化に貢献
- ◇畑の中の洋風な店舗という外観から来店者も増加し、「あいちの米たまご」の知名度も向上し売上が増加
- ◇生協との交流や地元小学校への食育活動、消費者への農場見学の実施により、地産地消や農畜連携の学習の場を創出

有限会社 デイリーファーム

常滑市大谷字芦狭間5番地

TEL:0569-37-0072 FAX:0569-37-0256

27. JAあいち知多女性部

～ 食農出前講座 ～

キーワード

伝統・継承

子ども(教育・体験)

地産地消



手作りの案山子 立ててます



小学生の田植え体験



伝統料理「おこしもの」です！

活動のきっかけ

- ◆食生活が欧米化した中、次世代を担う地域の子どもや保護者を対象に、食文化の伝承と地産地消を推進するため「食農出前講座一食と農をとおした虹っ子とのふれあい」を平成14年に開始

取組概要

- ◆知多半島で古くから伝わる3月の桃の節句に供えられるお菓子「おこしもの」の作り方を、女性部員が中心となり地域の子ども達や保護者に伝授
- ◆米・野菜などを中心とする農業体験講座や調理実習を出前講座として実施

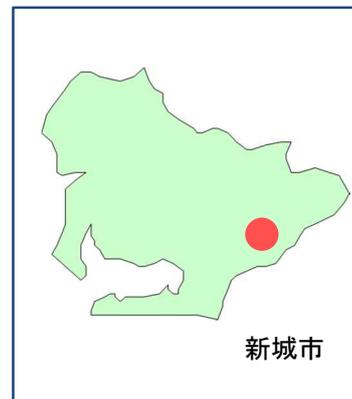
活動の効果

- ◇「食農出前講座」は、地元小学校や地域住民から地域貢献活動として高評価
 - ◇JA女性部員が中心となった関係組織と連携した継続的な活動は、子ども達に農業・食の大切さを学ぶ場を提供、地元根付く活動として保護者など若い世代との新たな関係構築にも寄与
 - ◇講座数、参加者数も徐々に増加し、食文化の継承にも貢献
- | | |
|------|-------------------------|
| 講座数 | 43 → 54 |
| 参加者数 | 6,785 → 7,151 (H23→H27) |

JAあいち知多女性部

常滑市多屋字茨廻間1-111

TEL:0569-34-9958 FAX:0569-34-9951



28. くらかけさんろくせんまいだ 鞍掛山麓千枚田保存会

～ 地域の宝、四谷の千枚田 ～

キーワード

自然・景観

子ども(教育・体験)

企業



6月に1,500本の蠟燭を灯す、お田植え感謝の夕べ風景



12月の収穫感謝祭の様子



「実りの千枚田」ラッピングバス

活動のきっかけ

- ◆かつては1,296枚あった棚田が373枚(H3)まで減少したことから、存続を危惧する地元住民らが立ち上がり、平成9年に保存会を設立

取組概要

- ◆「四谷の千枚田」の自然・景観の保全活動を実施
- ◆棚田での稲作を通じた農業体験学習や各種イベントの開催による都市と農村の交流を実施
- ◆企業の社員研修やボランティアを受け入れ、ビオトープを設置

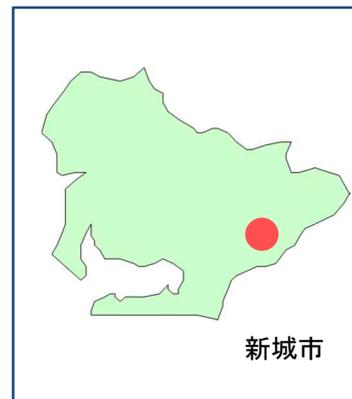
活動の効果

- ◇棚田の保全活動やPR活動により、農作業道路やふれあい広場などの周辺整備が進み、癒しを求める都市部からの来訪者が年間25,000人(H27)に増加
- ◇「四谷の千枚田」を新たな地域の中核として位置づけ、地域住民が各種活動を協働で実施し、地域を活性化
- ◇美しい景観がマスコミ等にも評価され、知名度が向上

鞍掛山麓千枚田保存会

新城市四谷59

TEL:0536-35-0747



29. JA愛知東助け合い組織 つくしんぼうの会

～ 元気な高齢者を作ろう。～

キーワード

地産地消

医療・福祉

女性の活躍



JA愛知東助け合い組織「つくしんぼうの会」メンバー



手作り弁当の盛り付けの様子



地元食材を活用した加工商品

活動のきっかけ

- ◆農村の高齢者対策としてホームヘルパーを養成。地域のお年寄りを元気にするとともに介護予防を目的として、平成10年に組織を設立

取組概要

- ◆お年寄りに1日6時間、体を動かすためのレクリエーションや手作り弁当を食べての交流会など、ミニデイサービスを実施
- ◆地域食材を利用した手作りお弁当や、地元野菜で作る無添加こだわりの加工商品（焼肉のたれ、リンゴジャム等）の製造・販売

活動の効果

- ◇ミニデイサービスは、地域高齢者単身世帯数の約3割が利用するなど、高齢者自身も介護予防（元気でいよう）への意識が向上
- ◇女性ならではの視点で行われる各種活動により、地域の子ども達や障がい者との交流も盛んとなり、過疎地域のコミュニティー維持にも貢献
- ◇手作りお弁当等の高齢者や地域住民への販売で、売上げが約12百万円から約21百万円（H23→H27）へ約2倍に増加

JA愛知東助け合い組織 つくしんぼうの会
 新城市平井字中田6-1(愛知東農業協同組合)
 TEL:0536-22-0014 FAX:0536-24-1585



30. つくでスマイル推進協議会

手軽に楽しむ「つくで高原」 ～つくでを元気にする挑戦～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

女性の活躍



農家レストラン「つくで田舎レストラン・すがもり」と鹿肉ハンバーグ



旧菅守小学校の跡地全景



子ども達によるピザ作り体験の様子

活動のきっかけ

- ◆平成25年3月末に小学校の統廃合により菅守小学校が閉校
- ◆地域の疲弊、地域のコミュニティー力の減退を懸念する住民の声がきっかけとなり、平成26年に地域活動組織として設立

取組概要

- ◆廃校となった小学校を交流拠点施設として整備し、ランチルームを利用した週末営業の農家レストラン「つくで田舎レストラン・すがもり」を平成26年にオープン
- ◆施設周辺全体を里山博物館として見立て、各種体験イベントを開催

活動の効果

- ◇農家レストランは年間約3,300人（H27）の利用者があり、売上げが約380万円（H27）に増加
- ◇農家レストランでは女性が活躍し、ジビエなど地域食材を使用した健康・安全・安心な食を提供し、地域を活性化
- ◇炭焼きや子ども達のピザ作り体験など各種体験イベントの開催により、都市住民との交流が活性化
- ◇道の駅「つくで手作り村」にレストラン2号店を出店し、田舎の駅的な機能を持たせ情報を発信

つくでスマイル推進協議会

新城市作手高里字縄手上60番地（新城市作手総合支所）
TEL:0536-37-2211 FAX:0536-37-2216

31. NPO法人 ^{ひがしちた}東知多菜の花プロジェクト

～ 元気で楽しく、美しいまちづくりを推進。 ～

キーワード

子ども(教育・体験)

女性の活躍

高齢者の活躍



保育園児の菜の花収穫体験の様子



東知多菜の花プロジェクトメンバー



菜の花まつりの様子

活動のきっかけ

- ◆不耕作地の増加と高齢化が進む中、美しい景観の街づくりと高齢者が元気に活躍できる場所づくりを目的として、平成25年にNPO法人を設立

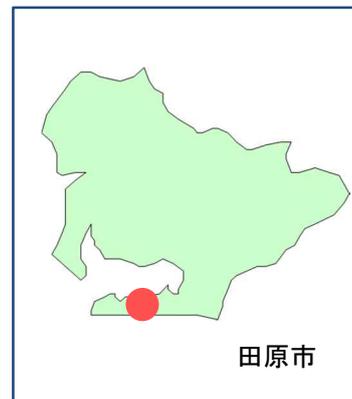
取組概要

- ◆大府市内の20ヶ所で、菜の花の栽培(種まき、栽培管理、収穫)と菜の花摘みを実施
- ◆子どもや福祉施設利用者による農作業体験(芋ほり、タマネギ植え付け等)を実施
- ◆菜の花祭り、ウォーキングなど都市住民との交流活動を実施

活動の効果

- ◇市内で菜の花が約8ha植え付けられ、耕作放棄地の解消と農村景観の維持・形成に寄与
- ◇保育園児、小学生や福祉施設利用者の農作業体験を通じた食育の推進
- ◇地元産の菜種で作った安全安心な「菜の花油」を学校給食や地域住民へ提供
- ◇菜の花の栽培管理、農業作業体験、菜の花祭りなど各種交流イベントで女性メンバーの活躍の場の創出

NPO法人 東知多菜の花プロジェクト
大府市柵山町8-69
TEL:0562-46-4053 FAX:0562-46-4053



32. ベジエール渥美

～ 渥美半島田原市の野菜・果物の応援隊 ～

キーワード

子ども(教育・体験)

地産地消

女性の活躍



保育園での食育講座の様子



イベントでの食育コーナーの様子



農産物販売イベント 田原フェアの様子

活動のきっかけ

- ◆農業地帯である田原市で、農業や野菜等に対して市民の関心が低い中、市の呼びかけによりジュニア野菜ソムリエが中心となり、平成26年に組織を設立

取組概要

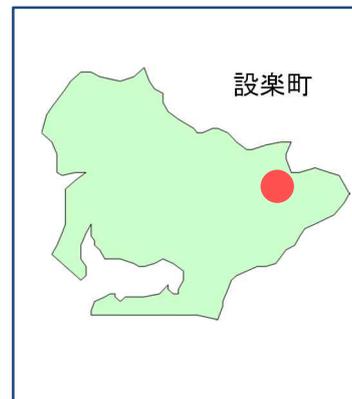
- ◆市内のホテルでマルシェや菜の花まつりなどの農産物の販売イベントを開催
- ◆保育園児、小中学生を対象に、絵本の読み聞かせや調理実習などを通じた食育講座を実施
- ◆地元野菜・果物を使ったレシピの紹介等により、渥美半島田原市をPR

活動の効果

- ◇食育講座の参加者が年間約 890人(H27)となり、料理教室の講師依頼が増加
- ◇市内での地元野菜の販売イベントでは、渥美半島田原市の農産物の魅力を伝える派遣依頼が増加
- ◇活動開始後間もないが、女性が中心となって活動の場が徐々に広がることで、地元野菜の魅力のPRや食育教育の推進に寄与

ベジエール渥美

田原市南番場30-1 (田原市役所農政課)
TEL:0531-23-3517 FAX:0531-22-3817



33. 奥三河つぐ高原 グリーンツーリズム推進協議会

～ 掘りおこしたむらの資源「ジビエ」～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

地産地消



奥三河つぐ高原マルシェ会場の様子



料理教室「食育Dining in つぐ高原」



ジビエ料理の出店の様子

活動のきっかけ

◆人口減少と高齢化による地域活力が低下したため、地域の豊かな自然や食を観光、教育等に活用し、都市との農村との交流促進、地域活性化と地域コミュニティ再生を目的として、平成25年に協議会を設立

取組概要

- ◆地域の食と文化を紹介するイベント「奥三河つぐ高原マルシェ～秋の収穫祭」を毎年開催
- ◆地元農産物と獣肉（ジビエ）を使用した商品の開発
- ◆地元の小学生親子を対象に、地元野菜とジビエを使った料理教室「食育Dining in つぐ高原」を開催

活動の効果

- ◇「奥三河つぐ高原マルシェ～秋の収穫祭」には、毎年約1,500人の来場者があり、都市と農村の交流が促進
- ◇ジビエ処理加工施設「奥三河高原ジビエの森」の整備により、地域内にジビエ販売という新しい産業を創出
- ◇秋の収穫祭も地域の恒例イベントとして定着、「奥三河高原ジビエの森」の取組がマスコミに取り上げられるなど、地域のPRにも貢献

奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会
北設楽郡設楽町津具字下川原6番地1
TEL:0536-83-2114 FAX:0536-83-2335

34. 古戸^{ふっと}ひじり会

～ 古戸(ふっと)を第2のふるさとにしませんか! ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

定住・移住



東栄町



都市住民との交流イモ掘り体験の様子



「花祭り」の継承に向けた舞の練習



間伐材とチェーンアートづくりの様子

活動のきっかけ

- ◆過疎化、少子高齢化により、地域の自然環境や国指定の重要無形民俗文化財である「花祭り」の伝承が困難となる中、課題解決や地域活性化を目的として平成20年に組織を設立

取組概要

- ◆移住希望者の交流を通じて定住・移住の受入れを目指す「古戸おいでん塾」を開講
- ◆耕作放棄地を活用したそばや野菜づくり、間伐材を利用した散策路設置等の森林環境整備
- ◆国指定の重要無形民俗文化財である「花祭り」の保存・継承

活動の効果

- ◇「古戸おいでん塾」や交流イベントの参加者が、約100人から約200人(H23→H27)へ増加
- ◇活動をサポートする都市住民のボランティア組織「古戸応援隊」が設立(H25)され、外部から多様な人材を確保
- ◇8年間の交流活動を通じて、古戸地区へ1世帯、東栄町内に2世帯が移住
- ◇森林での間伐作業や散策路づくり等により、地区内に魅力的な景観が形成

古戸ひじり会 (東栄町役場総務課)
北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25番地
TEL:0536-76-0501 FAX:0536-76-1725

35. ^{ちやうす}茶臼の里合同会社

～ じじばばの 耕作放棄地解消と都市との交流 ～

キーワード

「食」の提供・活用

6次産業化

その他(農林漁業体験)



豊根村



田んぼオーナー制度を活用した稲のハザかけの様子



郷土料理「五平餅」の露店販売の様子



道の駅で地元野菜の販売

活動のきっかけ

◆少子高齢化、過疎化が進む三河山間地域の美しいふるさとを守り、いつまでもこの地域に住み続けたいという願いから、平成18年に地元住民が立ち上がり地域活性化を目的とした組織を設立

取組概要

- ◆道の駅の販売部門を請け負い、地元野菜等の販売やレストランを運営
- ◆耕作放棄地を活用して米作りを行い、道の駅やイベントで郷土料理「五平餅」として販売
- ◆田んぼオーナー制度を活用し、年4回交流事業を実施

活動の効果

- ◇お祭りなどの村内外のイベントへの積極的な参加で、農産物の売上げが約5百万円から約3千万円(H23→H27)へ約6倍に増加
- ◇2haの耕作放棄地を農地として再生
- ◇田んぼオーナー制度の取組により年間延べ約1千人が交流

茶臼の里合同会社

北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3

TEL:0536-87-2050 FAX:0536-87-2051



36. 豊根村

～ 愛知のてっぺんで「めざせ100万人！」～

キーワード

自然・景観

雇用

その他(地域活性化)



観光客で賑わう「芝桜の丘」の風景



芝桜のライトアップの様子



イベントでの五平餅の販売の様子

活動のきっかけ

- ◆三遠南信自動車道・新東名高速道路の開通を地域活性化のチャンスと捉え、平成26年に「観光交流アクションプラン」を策定
- ◆地域資源を掘り起こし、新しいアクションを村民みんなで起こし、元気な村づくりを目指す

取組概要

- ◆茶臼山に「芝桜」を40万株植栽
- ◆芝桜のライトアップや星空観察会など誘客イベントを開催
- ◆「愛知・長野県境域スタンプラリー」や「三遠南信食の祭典」など各種イベントを開催

活動の効果

- ◇芝桜まつり期間中(約30日)の観光客が、芝桜植栽時の約5万人から植栽完成後には約31万人(H19→H24)へ約6倍に増加
- ◇芝桜まつり期間中は、駐車場・案内係員の雇用など新たな雇用を創出。また、花畑の草取りなどの手入れは、村シルバー人材センターに委託し高齢者雇用にも貢献
- ◇豊橋駅からの直行便バスや周辺観光地と芝桜を観る観光バスツアーも定着

豊根村 (豊根村役場農林土木課)
北設楽郡豊根村下黒川字蕨平2番地
TEL:0536-85-1311 FAX:0536-85-5110



37. 認定特定非営利活動法人 ^{もり}森林の風

～ 育てよう! 「まちのきこり人」 ～

キーワード

自然・景観

子ども(教育・体験)

企業



間伐体験中 ヘルメットは必ず着用



人工林の施行 間伐材の搬出



小規模獣害ネット設置風景

活動のきっかけ

- ◆森林の著しい荒廃と、獣害から水源を守る重要性を認識
- ◆森林保全を実践的に進める人材の減少
- ◆新たな人材育成を目的として、平成17年に認定特定非営利活動法人を設立

取組概要

- ◆「まちのきこり人育成講座」による新たな人材の育成
- ◆企業と連携した森林再生と企業活動への支援
- ◆植樹苗の育成、植樹による森林再生と獣害対策の実施

活動の効果

- ◇森林再生の取組への参加者数が約1,000人から約1,700人(H23→H27)へ増加
- ◇「まちのきこり人育成講座」の開講により間伐作業の安全性が向上
- ◇ミズナラ、アカヤシオなど3,000本の植樹により広葉樹の森が再生

認定特定非営利活動法人 森林の風
四日市市三滝台4丁目15番地の7
TEL:059-321-7719 FAX:059-321-7719

三重県 伊勢市



38. よこわちょう 横輪町活性化委員会

～ 守り続けた「横輪いも」いよいよ全国デビュー ～

キーワード

「食」の提供・活用

国内観光

6次産業化



横輪いもをペースト化した真空パック商品



都市農山村交流促進施設「郷の恵 風輪」



耕作放棄地を農場として再生

活動のきっかけ

- ◆平成18年都市農山村交流促進施設の開設を機に活動を開始
- ◆地域特産品「横輪いも」の生産拡大と6次産業化の推進

取組概要

- ◆多種多様な団体と連携した「横輪桜まつり」等のイベント開催
- ◆委員会、県、市、イオンリテール（株）の4者による「伊勢の横輪いも推進協議会」を設立し、「横輪いも」を生産振興
- ◆「横輪いも」の生産拡大に向けた耕作放棄地での試験栽培

活動の効果

- ◇横輪町内での横輪いもの生産量が2 tから12 t (H23→H28)へ約6倍に増加
- ◇推進協議会との連携による「横輪いも」の販路の確保と全国への情報発信
- ◇「横輪いも」の生産に参画する農家が増加

横輪町活性化委員会

伊勢市横輪町586番地

TEL:0596-39-1741 FAX:0596-39-1741

39. はぜ 波瀬むらづくり協議会

限界集落から元開集落(元気で開かれた)へ
～ 人の寄るむらづくりへ ～

キーワード

子ども(教育・体験)

地産地消

女性の活躍



むらの人と学生が遊休農地をクレソン畑に再生



再生したクレソン畑の様子



子ども達の自然体験学習

活動のきっかけ

- ◆地域林業の衰退、過疎化の加速、遊休農地の増加等、地域の抱える課題を解決するため、「自分達で出来ることは自分達でしよう」を合言葉として、平成19年に協議会を設立

取組概要

- ◆協議会の女性メンバーが中心となり、大学と連携しクレソン(オランダガラシ)栽培による遊休農地の再生
- ◆旧小学校を子ども達の自然体験学習拠点「波瀬ゆり館」として活用し、各種体験プログラムや都市と農村の交流活動を実施

活動の効果

- ◇女性メンバーが中心となり、クレソンを使った料理店「はぜの風」を開店するなど、新たな可能性への挑戦がスタート
- ◇平成21年に「櫛田川セレブの会」(女子会)を立ち上げ、各種イベントの開催や他地域との交流など女性が活躍できる場を創出
- ◇子ども達の自然体験学習受入れや地域外住民との様々な交流を契機として、地域資源の見直しや地域住民の生きがいづくりが拡大

波瀬むらづくり協議会

松阪市飯高町波瀬148

TEL:0598-47-0321 FAX:0598-47-0138



40. 株式会社 ^{まつさか}松阪協働ファーム

～ 日本一の牛が誕生する農業公園 ～

キーワード

自然・景観

子ども(教育・体験)

6次産業化



毎年11月に開催される松阪牛共進会



園内の維持管理の様子



農と食体験「味噌づくり」

活動のきっかけ

- ◆平成16年に開園した松阪農業公園の指定管理者として、公園の管理・運営を機に活動を開始

取組概要

- ◆園内に農産物直売所や加工施設を設け、地域食材を使用した6次産業化の推進と各種イベントの開催
- ◆市民ボランティアによる庭園管理、高齢者への作業委託による園内23haの樹木の剪定等
- ◆平成25年度より教育ファーム事業の認定を受け、子ども達の農と食体験を実践

活動の効果

- ◇毎年11月に松阪牛のチャンピオンを決める「松阪牛共進会」の開催など、年間100件近くのイベントを開催し、来園者が約40万人から約60万人(H19→H27)へ増加
- ◇公園内の樹木の剪定、芝生の管理等を周辺地域の高齢者へ委託することにより新たな雇用を創設
- ◇農作業や味噌づくりなど農と食体験を通じ、子ども達の食育や6次産業化の推進に寄与

株式会社 松阪協働ファーム

松阪市伊勢寺町551-3

TEL:0598-63-0050 FAX:0598-58-3712



41. すし工房なばな

～ 女性が活躍！「箱ずし」の復活で地域が元気 ～

キーワード

伝統・継承

女性の活躍

高齢者の活躍



農業まつりでの箱ずしの対面販売



郷土料理 箱ずし



一度に炊く米は4升

活動のきっかけ

- ◆学校給食で「ごはんがいい」との子ども達の多くの声に応え、郷土料理「箱ずし」の復活による米消費拡大と食文化を継承する活動を平成17年に開始

取組概要

- ◆女性メンバーによる「箱ずし」の商品化と販売促進
- ◆「箱ずし」作り体験を通じた食育の推進と食文化の継承
- ◆地域特産野菜の「なばな」及び露地野菜の生産振興

活動の効果

- ◇「生涯現役」をモットーに女性の活躍する場を創出
- ◇消えかけていた郷土料理の「箱ずし」を現代風にアレンジして商品化することにより食文化の復活と継承が実現
- ◇「箱ずし」の売上げ増加により、地元産米の消費が拡大
- ◇地域特産野菜「なばな」及び露地野菜を農産物直売所で販売し経済的な自立を達成

すし工房なばな

桑名市長島町殿名1200番地

TEL:0594-42-2494 FAX:0594-42-2494



42. 特定非営利活動法人 あぐりの杜^{もり}

～ 農業×福祉×観光で地域を活性化！ ～

キーワード

伝統・継承

国内観光

医療・福祉



1人ひとりに寄り添った就労の支援



「さをり織り」作製の様子



古民家改修作業の様子

活動のきっかけ

- ◆水耕栽培が障がい者の自立(就労)に適していると考え、(株)アグリーと業務提携し、平成25年に農園芸福祉事業を開始
- ◆地域資源を活用し、農業×福祉×観光をキーワードにした障がい者の雇用促進

取組概要

- ◆「あぐり工房」(就労継続支援B型事業所)を開設し障がい者の受入れを開始
- ◆「さをり織り」を導入し障がい者の芸術分野での才能発揮を支援
- ◆「古民家再生プロジェクト」による活動拠点の整備

活動の効果

- ◇「あぐり工房」の開設により障がい者30名の就労機会を提供
- ◇水耕栽培での葉物野菜作りへの支援により、農業の抱える「担い手不足」と障がい者の抱える「就労先不足」の双方の課題を解決
- ◇改修した古民家「Gallery^{ギャラリー}七菜^{なな}」に「さをり手織機」を設置。「さをり織り」の作製・販売により、障がい者の自立に貢献するとともに地域が活性化

特定非営利活動法人 あぐりの杜

名張市東田原529番地

TEL:0595-44-6789 FAX:0595-44-6788



43. 株式会社 熊野古道おわせ

～ 入り江の食文化をつなぐ。プロジェクト82.3 ～

キーワード

「食」の提供・活用

女性の活躍

高齢者の活躍



ランチバイキング設立メンバー



いまだけ・ここだけ・これだけの料理



地域の食文化を継承する、月ごと魚フェア

活動のきっかけ

- ◆熊野古道の世界遺産登録（平成16年）、交流施設「夢古道おわせ」の建設により交流人口増加に期待感が高まる
- ◆高齢化率82.3%の地域で、ランチバイキングを含む地域活性化のための新たなチャレンジを、平成18年に開始

取組概要

- ◆地域のお母さん達が地元食材を使った家庭料理をランチバイキング（ビュッフェ形式）で提供
- ◆地域のお母さん達が10人から15人前後の女性グループを作り、週替わりで担当し、料理を提供

活動の効果

- ◇「夢古道おわせ」は平成19年のオープンから平成27年までに約30万人を集客
- ◇素人のお母さん達が毎日平均80人のお客様を受け入れ飲食事業を担うことで、地域の誇りを取り戻し、地域への愛情を大きく育んだ
- ◇女性グループからの卒業後は、独立してカフェを開店したり、ランチを通じて人気メニューを開発し総菜加工業を起業するチームが誕生するなど、地域に新たな雇用の場を創設

株式会社 熊野古道おわせ

尾鷲市向井12-4

TEL:0597-22-1124 FAX:0597-22-1124

三重県 尾鷲市

44. 特定非営利活動法人 てんまうら ひやくにんかい 天満浦百人会

～ 合言葉は天満から尾鷲を元気にしょうらい! ～

キーワード

「食」の提供・活用

子ども(教育・体験)

女性の活躍



月いち天満レストランで提供されるおわせ伝統料理



おわせおひなさままつり(天満荘)



新作スイーツ クロフ風パンpinkケーキ

活動のきっかけ

- ◆平成12年に「天満をにぎやかなまちにしょうらい!」を合言葉に、おもてなしを中心に活動を開始
- ◆築90年余りの古民家を改修し、平成22年より「カフェ天満荘」として開店

取組概要

- ◆おわせ食の伝承と女性・高齢者の活躍の場づくりのため、カフェ天満荘での「月いち天満レストラン」(※)を開催
- ◆甘夏みかんの栽培により生まれたマーマレードの製造・販売
- ◆地元小学生など若者を対象とした郷土食に関する出前講座の開催

活動の効果

- ◇地域が高齢化する中、「カフェ天満荘」への年間集客数が約3千人(H27)を達成
- ◇「カフェ天満荘」を拠点として、高齢者の知恵と若者の行動力が連携し地域の活性化に寄与
- ◇食の体験などの各種イベントでは世代間の交流も活発に行われ、地域住民を巻き込んで大きく発展し、まちづくりの核となる活動に

(※)「月いち天満レストラン」は平成29年3月をもって閉店となります。

特定非営利活動法人 天満浦百人会
尾鷲市大字天満浦1番地の6
TEL:0597-22-7880 FAX:0597-22-7880



45. とば 鳥羽マルシェ有限責任事業組合

～ きれい輝く鳥羽で「食」のしあわせづくり ～

キーワード

「食」の提供・活用

6次産業化

地産地消



健康に配慮し、旬の食材で調理したレストランメニュー



マルシェでの新鮮な農水産物販売



6次産業化で取り組むジャムづくり

活動のきっかけ

- ◆ 農水産物の価格低迷や後継者不足等の課題解決に向け、地元の農協と漁協が手を携え平成26年に新組織を設立
- ◆ 年間約440万人が来訪する観光地で、付加価値の高い農水産物づくりと地域で受け継がれる食文化の魅力を発信

取組概要

- ◆ 農漁家の所得向上を目指した農水産物の直売事業、地域で継承されてきた「食の知恵」を提案するレストラン・惣菜事業を実施
- ◆ 地元農水産物を活用したジャムや釜ゆで加工品など6次産業化の取り組みにより生産者を支援

活動の効果

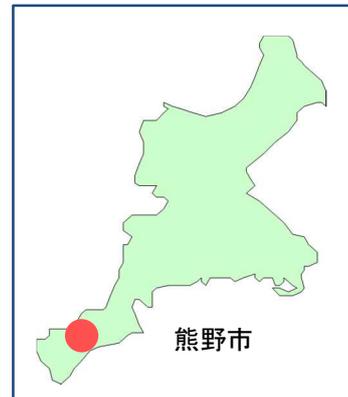
- ◇ 自家消費が中心だった地域の生産者から農水産物等を買取り、マルシェで販売することにより生産者の所得向上に貢献
- ◇ 直売部門の売上げが、約30百万円から約81百万円（H26→H27）へ約3倍に増加
- ◇ サメやアラメといった食材など地域独特の食文化を発信することで、地域の「食」の付加価値が向上
- ◇ 6次産業化の推進により鳥羽マルシェで販売するアイテム数が、50から158（H26→H27）に増加

鳥羽マルシェ有限責任事業組合

鳥羽市鳥羽1丁目2383-42

TEL:0599-21-1080 FAX:0599-21-1081

三重県 熊野市



46. 一般財団法人 熊野市ふるさと振興公社

～ 地域資源を活用したグリーンツーリズム ～

キーワード

「食」の提供・活用

その他(都市との交流)



相模女子大学生の地元農家との新姫収穫交流



丸山千枚田での田植え交流



女子大学生が提案したメニュー
「かつキャベ元気そば～熊野育ち新姫添え～」

活動のきっかけ

- ◆平成9年に熊野市新鹿町で発見された新種の香酸柑橘「新姫(にいひめ)」の産地化着手
- ◆平成20年度から都市と農村の交流の一環として、相模女子大学生の地域協働活動の受入れを開始

取組概要

- ◆新姫の産地化を進めるため、荒廃農地約3haを整備し約3,300本を定植
- ◆相模女子大学生の地域協働活動への支援及び都市部での熊野市のPR活動

活動の効果

- ◇大学生が地元農家の栽培する新姫の収穫や選別・袋詰作業を手伝うことで、農家の労働力確保に貢献
- ◇平成18年から平成25年の8年間で、約3haの荒廃農地が解消
- ◇相模女子大学と連携した都市部でのPR活動、大学生による特産品を使った新たな商品提案など、熊野市の認知度向上にも貢献
- ◇大学生との交流を通じ、外部目線による地域の魅力を地域住民も再確認

一般財団法人 熊野市ふるさと振興公社
熊野市紀和町板屋78
TEL:0597-97-0640 FAX:0597-97-0641

三重県 熊野市

まるやませんまいだ 47. 丸山千枚田保存会

～ 皆で残そう！10年、100年、千枚田 ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

その他(オーナー制度、農業体験を通じた都市との交流)



熊野市



1340枚まで復元された「丸山千枚田」



オーナーとの交流「稲刈りの集い」



伝統的農耕行事「虫おくり」を復活

活動のきっかけ

- ◆かつて 2,240枚あった棚田が平成初期には530枚まで減少
- ◆先祖代々の丸山千枚田を失いたくない！復元し、後世に残したい！との地域住民の想いと、復元して地域振興・活性化につなげようという行政の想いから平成25年に活動開始

取組概要

- ◆棚田の復元と手作業での農作業、石垣補修による景観保全活動
- ◆棚田オーナー制度の運営、農業体験を通じた都市住民との交流
- ◆昭和28年まで行われていた火と音で害虫を追い払う伝統的農耕行事「虫おくり」の復活

活動の効果

- ◇棚田のある日本の原風景を取り戻し、地域の宝として後世へ継承
- ◇棚田オーナー制度や農業体験により、地元と都市住民が一体となった保全活動が展開され、活気のある農村が復活
- ◇夏の風物詩の「虫おくり行列」など四季折々の姿を楽しむことができ、棚田を訪れる観光客も約7千人から約27千人（H23→H27）へ約4倍に増加

丸山千枚田保存会(熊野市役所)

熊野市紀和町板屋78

TEL:0597-97-1113 FAX:0597-97-1003

三重県 菰野町

49. ^{たびか} 田光資源と環境を守る会

～ 清流と、光かがやく田園と未来ある ふるさと田光 ～

キーワード

自然・景観

子ども(教育・体験)

地産地消

菰野町



ため池百選に選ばれた「楠根ため」と池干しの様子



シテコブシ群生地



タナゴ 生き物観察会

活動のきっかけ

- ◆平成3年より転作田を活用したコスモス畑の共同維持活動を開始
- ◆平成17年に「田光のシテコブシ及び湿地植物群落」が国の天然記念物に指定されたことから、地域の環境保全の機運が上昇

取組概要

- ◆毎年約3haのコスモス畑で地域交流イベントを開催
- ◆田光の地域資源を後世に伝えるため、平成19年に「田光資源と環境を守る会」を設立し活動開始
- ◆地元小学校と連携し、子ども農業体験・伝統文化の継承を実施

活動の効果

- ◇毎年10月中旬に開催される「コスモス地域交流会」での参加者数が、約1,800人から約2,700人(H23→H27)へ増加
- ◇ため池の池干しにより外来魚が駆除され、希少生物であるアブラボテ(タナゴの一種)を保全
- ◇地元小学校が総合学習の一環で行う生物・生態系の観察会や農業体験を通じ、地域の絆が深まり、次代を担う地域の後継者育成と伝統文化の継承に寄与

田光資源と環境を守る会(菰野町役場)
三重郡菰野町大字潤田1250
TEL:059-391-1129 FAX:059-391-1193



50. ^{たちばい}立梅用水土地改良区

Power of the TACHIBAI ~ 次の200年へ ~

キーワード

子ども(教育・体験)

6次産業化

その他(再生可能エネルギー(小水力発電、太陽光発電)を活用した町づくり)



コミュニティスクール「米・大豆づくり」



コミュニティスクール「食農教育」



立梅用水を利用した小水力発電

活動のきっかけ

- ◆約200年前に完成した「立梅用水(農業用水路)」を活用し、農業農村を中心とした地域社会の「絆」再構築に取り組む
- ◆平成5年より地域住民と土地改良区との協働による「あじさいいっぱい運動」を開始

取組概要

- ◆地域住民が主体となり地元小学生を対象にコミュニティスクール(CS事業)を実施し、農業生産を通じた食農教育と農業用水の大切さなど地域農業をPR
- ◆再生可能エネルギー(小水力・太陽光発電)の普及推進活動

活動の効果

- ◇CS事業や企業連携活動を通じて、外部視点による地域の価値を再認識
- ◇CS事業が社会人向け企業研究プロジェクトメニューとして発展し、新たな地域産業の立上げといった農村創造にも効果
- ◇再生可能エネルギー(小水力・太陽光)の新たな普及方法として電気の地産地消事業を立ち上げ、年間約800人(H27)の視察を受入れ

立梅用水土地改良区

多気郡多気町丹生1620-3

TEL:0598-49-4522 FAX:0598-49-4828



51. ^{おおだいちょう}大台町木づかい推進協議会

～ 日本一の美しい森林づくりを目指した
大台町木づかい推進運動 ～

キーワード

雇用

6次産業化



「木塾」の開催風景



樹木アロマの商品開発



販売イベント「奥伊勢森の市」

活動のきっかけ

- ◆木質バイオマス燃料の導入を検討する中、木材加工商品の開発や販路、残材の利用方法を検討・実践する組織として、平成27年に協議会を設立

取組概要

- ◆平成27年から平成29年の3カ年で、木材加工の人材育成を目的とした「木塾」を開催
- ◆広葉樹等の枝葉を活用した新たな商品開発
- ◆木材加工品の販売促進を目的とした販売イベント「奥伊勢森の市」の開催

活動の効果

- ◇「木塾」の参加者は21人(H27)を数え、座学講座を含む実践的な研修により参加者の技術力が向上
- ◇「奥伊勢森の市」の開催により定期的な木製品販売場所を確保
- ◇タムシバ、クロモジ、ヒノキ、カナクギノキの4種類の「樹木アロマ」を開発
- ◇「樹木アロマ」の販売体制の整備が森林づくりに協力・賛同する企業を確保

大台町木づかい推進協議会

多気郡大台町佐原750番地

TEL:0598-82-3786 FAX:0598-82-2565

52. ^{おおすぎだに}大杉谷移住促進協議会

～ 大杉谷移住促進事業（ようこそ大杉谷へ！）～

キーワード

定住・移住



大台町



古民家リフォーム塾の様子



改修前の古民家



改修後の古民家

活動のきっかけ

- ◆高齢化率が70%を超える大杉谷地区の維持を目的に、行政、地域住民等との連携体制を整備し、地域活性化に向けた取組を行うため、平成23年に協議会を設立

取組概要

- ◆「古民家リフォーム塾」の開講
- ◆古民家を移住希望者向けお試し住宅や農林漁家民宿に改修し、移住促進のための環境整備や田舎暮らし体験講座を開講
- ◆移住希望者から問い合わせ対応して、移住相談窓口を設置

活動の効果

- ◇「古民家リフォーム塾」の受講により参加者の技術力が向上
- ◇移住相談や地域案内の実施、「古民家リフォーム塾」により整備された移住者用お試し住宅の活用により、平成26、27年度と子供連れの世帯が相次いで地区内へ移住
- ◇田舎暮らし体験講座（柿渋、蜜蝋ワックスづくり等）の実施で移住希望者が増加

大杉谷移住促進協議会

多気郡大台町久豆199

TEL:0598-78-8888 FAX:0598-78-8889

53. ^{のほらむら}野原村元気づくり協議会

～ 生涯現役！ 廃校利用で農山村の元気づくり ～

キーワード

伝統・継承

「食」の提供・活用

地産地消



廃校の小学校給食室を改築 地産地消弁当の盛り付けの様子



摘んだお茶の選別作業



小学生のアイデアで商品化したお茶の販売

活動のきっかけ

- ◆平成18年、野原区自治会が中心となり地域課題を解決するため「野原と区民が元気になる活動計画書」を作成
- ◆平成20年に活動主体として協議会を設立

取組概要

- ◆農産物への獣害対策として関係者が連携し、鹿・猪肉料理を提供する「野原工房げんき村」を開業
- ◆地元七保小学校の総合学習と連携し、地域の宝物探しと題した授業を展開
- ◆子ども達が企画した「茶摘み体験ツアー」により都市と農村の交流を実施

活動の効果

- ◇地域の最大課題である獣害対策は、ジビエ料理や地産地消弁当の販売拡大が捕獲促進に繋がり、農作物への被害が減少
- ◇小学校の総合学習において、子ども達のアイデアから新たなお茶の商品（七保のお宝あたたかきずな茶）が誕生
- ◇子ども達の企画による「茶摘み体験ツアー」や廃校を活用した各種イベントの開催により、都市と農村の交流が促進

野原村元気づくり協議会

度会郡大紀町野原543

TEL:080-1569-5336 FAX:0598-89-4038

三重県 大紀町

54. ^{たいきちょう}大紀町漁業活性化推進協議会（^{ととぎんかい}魚々錦会）

～ 漁場の味を家庭でも 地産地消！ ～

キーワード

「食」の提供・活用

6次産業化

地産地消



小学生を対象とした漁業体験 魚捌き教室の様子



山間部への移動魚販売者



第3回フィッシュワングランプリでの準グランプリ受賞

活動のきっかけ

- ◆町村合併をきっかけに、町内唯一の漁港である錦地区の漁業の活性化を目的として、平成17年に協議会を設立

取組概要

- ◆桜鰯（春先に大量に採れる鰯）のブランド化を図るため、平成23年から「錦ぶりまつり」を毎年開催
- ◆地産地消を目的に、町内山間部へ軽冷蔵車での移動販売を実施
- ◆水産物の6次産業化を目指した地元特産物を利用した商品開発
- ◆地元の小学生を中心に、漁業体験（干物作り、魚捌き教室等）を毎年開催

活動の効果

- ◇「錦ぶりまつり」は、毎年約3千人が来客
- ◇軽冷蔵車での移動販売により、山間部を含む町内での水産物の地産地消に貢献
- ◇6次産業化の取組で開発した「真鯛の塩麴焼」が、第3回フィッシュワングランプリのファスト部門で準グランプリを受賞
- ◇子ども達を対象とした漁業体験の実施により、地元の魚食文化の継承と食育に貢献

大紀町漁業活性化推進協議会

度会郡大紀町錦891-1（三重外湾漁協錦事業所内）

TEL:0598-73-2111 FAX:0598-73-2039

55. 特定非営利活動法人

たいきちょう
大紀町日本一のふるさと村

～ 「限界集落」をふっとばせ 日本一の宝満載で ～

キーワード

6次産業化

地産地消

女性の活躍



パン工房の看板おばあちゃん 90歳と94歳



特許取得！釜戸炊きごはんパン



農家体験民宿 ふるさと村

活動のきっかけ

- ◆高齢化率県内2位の町で、耕作放棄地、獣害の増加が集落の存続に危機感
- ◆地域の宝を活用し子ども達とふるさとの未来を守るため、平成22年にNPO法人を設立

取組概要

- ◆古民家を改造したバリアフリーの農家体験民宿を経営
- ◆釜戸炊きごはんパン(特許取得)を開発。地域の女性が子連れで働き、ママの選んだ三重県産小麦や地元産の自家米や新鮮な野菜・果物を使用し、子どもたちにやさしいパンを販売

活動の効果

- ◇農家体験民宿では、来客者の意向も踏まえた宿泊体験計画を作成することで、海外からの観光客も受入れ
- ◇ふるさと村で働く9人のうち6人の子育てママがごはんパンづくりの主力で、94歳と90歳のおばあさんが店番をするなど、地域の女性が活躍できる新たな雇用の場を創出
- ◇釜戸炊きごはんパンの売上げが、約27万円から約154万円(H23→H27)へ約6倍に増加

特定非営利活動法人 大紀町日本一のふるさと村
度会郡大紀町金輪974番地2
TEL:0598-87-1500 FAX:0598-87-1369

三重県 紀北町

56. 三重 ^{きほくちょう} 紀北町 海・山こだわり市

～ 魅力・ときめき発信！ 地域みんなを元気に！！ ～

キーワード

「食」の提供・活用

6次産業化

地産地消



「海・山こだわり市」実行委員会のメンバー



「海・山こだわり市」の開催



尾鷲・熊野市を巻き込んでの広域食イベント

活動のきっかけ

- ◆大切な地域資源をきちんとした形でPRすることで、商品本来の価値や販売価格が認識されることから、そのことを生産者の所得向上と後継者育成につなげていくため平成25年に活動を開始

取組概要

- ◆実行委員会メンバーである若手生産者のこだわり生産品と地域内の旬を組み合わせた「海・山こだわり市」を年3回程度開催
- ◆近隣の尾鷲市や熊野市の若手生産者を巻き込み、地域の特産品を使った「棒（串焼きなど）」対決イベントを開催

活動の効果

- ◇実行委員会メンバーは、Uターン・Iターンの20代から40代で構成。意欲的な活動により地域内に新しい元気な風を呼び込むことに成功し、商品の知名度もアップ
- ◇町外からの「海・こだわり市」への参加店舗が増えたことで、来場者数が、約2,000人から約3,300人（H25→H27）へ増加
- ◇6次産業化で開発した「完熟トマト」と「200%トマトジュース」が、伊勢志摩サミットの会食ドリンクに採用

三重 紀北町 海・山こだわり市

北牟婁郡紀北町相賀2094-5

TEL:090-4861-6737 FAX:0597-31-4126

57. ^{おろし}尾呂志地区活性化プラン推進委員会

～ 売い込む、呼び込む、巻き込む ～

キーワード

企業

6次産業化

その他(農業振興)



御浜町



「風伝おろし」と呼ばれる巨大な朝霧が有名



尾呂志の酒「風」新酒発表会



「さぎりの里」直売所店内の様子

活動のきっかけ

- ◆地域の過疎化、高齢化など将来の課題意識を持った住民が集まり「地域活性化プラン」を作成
- ◆これまでバラバラだった地域活動を一本化するため、推進母体となる委員会を平成24年に設立

取組概要

- ◆地域の課題を解決し、地域の維持・活性化を目的とした活動計画の策定と実践
- ◆節目ごとのワークショップ開催で地域住民と合意形成。取組成果をフォーラム等で情報発信
- ◆地元企業と連携した新たな地域特産品の開発

活動の効果

- ◇農家有志グループ尾呂志「夢」アグリを中心とした米生産・販売活動の充実により、耕作放棄地の抑制に寄与
- ◇地元企業との連携で生まれた日本酒純米大吟醸「風(おろし)」や酒粕を使用したパウンドケーキ「風伝おろし」は人気上昇中
- ◇ブランド米や新商品の開発により、生産者等の生産・販売意欲の増進、高齢者の生きがいに貢献。また、直売所及びレストラン「さぎり茶屋」により新たな女性の雇用の場を創出

尾呂志地区活性化プラン推進委員会

南牟婁郡御浜町上野918-8

TEL:05979-4-1078 FAX:05979-4-1078

☆ キーワード(取組内容)事例番号

キーワード	事例番号											
自然・景観	1 30	2 33	3 34	5 36	8 37	10 40	11 47	17 49	20	25	28	
伝承・継承	1 34	4 41	5 42	6 47	7 53	10	15	16	17	19	27	
「食」の提供・活用	2 38	11 43	14 44	16 45	19 46	23 53	24 54	26 56	30	33	35	
国内観光	3	6	8	10	21	38	42					
子ども(教育・体験)	3 27	5 28	6 31	7 32	8 37	9 39	16 40	17 44	20 49	21 50	25	
企業	18	28	37	57								
雇用	12	18	36	48	51							
6次産業化	12 56	13 57	26	35	38	40	45	50	51	54	55	
地産地消	4 49	9 53	24 54	25 55	26 56	27	29	32	33	39	45	
医療・福祉	13	29	42									
定住・移住	2	9	11	12	14	19	34	52				
女性の活躍	29	30	31	32	39	41	43	44	55			
高齢者の活躍	31	41	43	48								
鳥獣害防止	15											
その他	1 35	7 36	13 46	14 47	15 48	18 50	20 57	21	22	23	24	

第3回「ディスカバー農山漁村の宝」東海農政局管内 応募団体事例集 (平成29年3月)

東海農政局 農村振興部 農村計画課(技術班)

〒460-8516 名古屋市中区三の丸1-2-2

TEL:052-223-4629(直通) FAX:052-220-1681

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ(東海農政局)

URL:<http://www.maff.go.jp/tokai/noson/keikaku/discover/index.html>